平成３０年度第２回　熊谷市地域公共交通会議　会議録

平成３１年２月１２日（火）
午後１時３０分～午後３時
熊谷市役所６階　６０３会議室

１　開　会

２　会長あいさつ

３　新委員紹介

・立正大学地球環境科学部地理学科　専任講師　山田　淳一　氏

４　議　題

（１）ゆうゆうバスのルート・時刻の見直し後の経過について

・別添資料に従い説明。
・新たに運行している。さくら号路線については、遅延が目立つ。
・おおむね順調に推移。新規導入のグライダーワゴンについて、
籠原駅～妻沼行政センター間は乗車数が多い。循環路線は常連の方が中心。
車いす利用もある。

→　委員の了解を得て、課題については次回、時刻見直しの際に検討することとした。

（２）新規路線の試験運行について

・別添資料に従い説明。
・試験運行の、
①　交通空白地域の設定はどのようか。
②　運行時間帯の設定は。休館日はどうするのか。
③　３か月は短いのでは。
④　スケジュールは。

→①　ハートフルミーティングや直接の要望などにより把握しており、
そうした地域を中心にルート設定したところ。
②　くまぴあの開館時間を考慮した時間帯を考えている。休館日にも近隣住民の利用が考えられるので、運行する方向で調整する。
③　費用対効果を考えて決定したところ。
④　平成３１年度に試験運行とその検証を行い、その結果により翌年度の本格運行を目指す。

→委員了解。

（３）ゆうゆうバスのルート・バス停変更について

・別添資料に従い説明。

→委員了解。

（４）ほたる号の事業評価について

・別添資料に従い説明。

→委員了解。

５　その他

（１）ユニバーサルデザインタクシー補助事業について

・別添資料に従い説明。

・ユニバーサルデザインタクシー補助事業については、県内でも先進的で、ラグビーワールドカップに向けて大変にありがたいことと思っている。また、新聞報道でもあった通り、ジャパンタクシーについては改良が進んでおり、既に購入した車両についてもメーカーにおいて改造してもらえると聞いている。

（２）埼玉県地域公共交通インバウンド利用促進事業について

・秩父鉄道　における

熊谷駅、行田市駅の券売機の多言語化

ＷＩ－ＦＩ整備、タブレット導入、ＱＲコードの実証実験

ラッピング車両

等の取り組みについて説明。

・朝日自動車における

運賃表示機の液晶化、多言語化、聖天山をかたどった聖天前バス停の整備、バスの行先表示のナンバリング

等の取り組みについて説明。

（３）駅ホーム声かけサポート講習会の実施報告について

・別添資料に従い説明。

（４）その他

・熊谷駅正面口の混雑について、平時から二重駐車など、混雑が常態化している。

・新規導入のグライダーワゴンについて、農村地帯を走っているときには何ともさみしい。音楽を流すなどしてはどうか。

・他市での例はあり、技術的には可能だが、かなり静かな曲を選び、音量を絞って運用したものの、うるさいとのクレームがあり、なかなか難しいと考えている。

→　今後検討することとした。

６　閉　会